

< 中間処理施設（焼却） >

施設の名称 : 水島クリーンセンター  
設置場所 : 岡山県倉敷市水島川崎通一丁目18番  
設置年月日 : 平成11年3月3日 汚泥の焼却施設、廃プラスチック類の焼却施設  
平成22年2月25日 産業廃棄物の焼却施設：紙くず, 木くず,  
繊維くず, ゴムくず  
施設の種類 : 汚泥の焼却施設、廃プラスチック類の焼却施設、産業廃棄物の焼却施設  
処理する産業廃棄物の種類 : 汚泥、廃プラスチック類  
紙くず・木くず・繊維くず・ゴムくず（これらのうち石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物、水銀含有ばいじん等を除く。）  
処理能力 : 汚泥420m<sup>3</sup>/日、廃プラスチック類78t/日、  
紙くず163t/日、木くず194t/日、繊維くず101t/日、  
ゴムくず67t/日  
処理方式（焼却施設） : 巡回型流動床式連続焼却炉 2炉  
稼働時間 : 24時間/日  
火床面積 : 12.5m<sup>2</sup>/炉  
燃焼ガス温度 : 800℃以上  
燃焼ガス滞留時間 : 2秒以上

環境保全対策：

(1) 排ガスの処理方法

- 1) ばいじん 0.02g/Nm<sup>3</sup>以下  
集じん器（バグフィルタ）による捕集
- 2) 窒素酸化物 3.30Nm<sup>3</sup>/h以下  
2段焼却による低NO<sub>x</sub>化  
焼却炉出口での尿素水吹込みによる無触媒還元
- 3) 硫黄酸化物 2.50Nm<sup>3</sup>/h以下  
焼却炉内流動砂への石灰石投入による炉内脱硫  
集じん器前での消石灰吹込みによる反応除去
- 4) 塩化水素 392mg/Nm<sup>3</sup>以下  
集じん器前での消石灰吹込みによる反応除去
- 5) ダイオキシン類  
0.5ng-TEQ/Nm<sup>3</sup>以下（自主管理値：0.1ng-TEQ/Nm<sup>3</sup>以下）  
焼却炉内及び排ガス温度管理によるダイオキシン類の発生抑制  
集じん器前での活性炭吹込みによる吸着除去

(2) 燃え殻及びばいじんの処理方法

燃え殻、ばいじん共に、自社のみずしま資源再生センターで焼却（再生）する。ただし、当該施設の故障等やむを得ない場合は、金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令に基づく判定を実施し、安全性を確認した上で、自社処分場に最終処分する。

< 中間処理施設（焼却：再生） >

施設の名称	: みずしま資源再生センター
設置場所	: 岡山県倉敷市水島川崎通一丁目20番2
設置年月日	: 令和5年6月27日
施設の種類	: 産業廃棄物の焼却施設
処理する産業廃棄物の種類	: 燃え殻、ばいじん（これらのうち石綿含有産業廃棄物及び水銀使用製品産業廃棄物を除き、水銀含有ばいじん等（水銀の回収が必要なものを除く。）を含む。） 特定有害産業廃棄物 燃え殻（カドミウム又はその化合物、鉛又はその化合物、六価クロム化合物、砒素又はその化合物、セレン又はその化合物若しくはダイオキシン類を含むことのみにより特定有害産業廃棄物となるものに限る。） ばいじん（水銀又はその化合物（アルキル水銀化合物及び水銀の回収が必要なものを除く。）、カドミウム又はその化合物、鉛又はその化合物、六価クロム化合物、砒素又はその化合物、セレン又はその化合物、1,4-ジオキサン若しくはダイオキシン類を含むことのみにより特定有害産業廃棄物となるものに限る。）
処理能力	: 燃え殻：144.0 t/日    ばいじん：164.6 t/日
処理方式（焼却施設）	: ロータリーキルン式焼成炉 1炉
稼働時間	: 24時間/日
燃焼ガス温度	: 800℃以上
燃焼ガス滞留時間	: 2秒以上

環境保全対策：

(1) 排ガスの処理方法

- 1) ばいじん    0.02 g/Nm<sup>3</sup>以下  
集じん器（バグフィルタ）による捕集
- 2) 窒素酸化物    75 ppm以下  
焼成温度管理による生成抑制  
集じん器後段でアンモニア吹込み、触媒還元
- 3) 硫黄酸化物    45 ppm以下  
集じん器前での消石灰吹込みによる反応除去  
スクラバ（湿式洗浄）による除去
- 4) 塩化水素    250 mg/Nm<sup>3</sup>以下  
集じん器前での消石灰吹込みによる反応除去  
スクラバ（湿式洗浄）による除去
- 5) 水銀    30 µg/Nm<sup>3</sup>以下  
集じん器前での活性炭吹込みによる吸着除去
- 6) ダイオキシン類  
0.1 ng-TEQ/Nm<sup>3</sup>以下  
再燃焼室温度管理によるダイオキシン類の発生抑制  
集じん器前での活性炭吹込みによる吸着除去

(2) 燃え殻及びばいじんの処理方法

- 1) 燃え殻    有価物（焼成品）として、建設資材業者に土木資材として売却、又は廃棄物最終処分場の中間覆土として自己利用する。
- 2) ばいじん    焼成工程で発生する焼成ばいじんは、リサイクル業者で山元還元（非鉄精錬所で鉛等を回収する処理）のリサイクルを行う。

<管理型最終処分場>

設置場所 : 岡山県倉敷市水島川崎通一丁目21番並びに14番1、17番及び21番の地先公有水面

設置年月日 : 平成21年2月27日

施設の種類 : 管理型最終処分場

処理する産業廃棄物の種類 : 燃え殻、汚泥（無機性汚泥に限る。）、廃油（タールピッチ類に限る。）、廃プラスチック類（自動車等破砕物を含む。）、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず（自動車等破砕物を含む。）、ガラスくず・コンクリートくず（がれき類を除く。）・陶磁器くず（自動車等破砕物を含む。）、鋳さい、がれき類、ばいじん、産業廃棄物を処分するために処理したもの（これらのうち石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物、水銀含有ばいじん等を含む。）、廃石綿等

処理方式 : 海面埋立

埋立廃棄物量 : 4,600,000 m<sup>3</sup>

埋立総面積 : 229,000 m<sup>2</sup>

環境保全対策 :

(1) 浸出水の処理方法

① 排水処理

処分場内の余水は、排水処理場に集められ、環境省により定められた基準はもちろん、さらに厳しい基準である所在市との環境保全協定等の排水基準をクリアするきれいな水に処理して排水している。

② 排水と周辺水域の監視

排水及び護岸周辺の公共水域については、項目・頻度を定めて定期的に水質の監視を行っている。

(2) 飛散・流出防止の方法

① 安全管理（構造物）

処分場の護岸を定期的に計測器等で監視し、異常がないことを確認する。

② 環境管理

処分場の道路に散水し、ほこりの発生を防ぐ。また、処分場を出る前に洗車場で運搬車のタイヤを洗い、環境管理に万全を期している。

(3) 防災設備の構造

① 安全管理（火災防止）

毎回、運搬車が計量ゲートを通るたびに廃棄物を検温する等、廃棄物に危険性がないかどうかチェックする。

② 抜き取り検査

運搬車からの廃棄物抜き取り検査で異常があった場合は、一旦受入を停止し、改善してもらうよう指導する。